

ヨコハマ^{リデュース}R 委員会 支援した取組の結果検証（第5回検討会議資料）

テーマ	子ども靴のリユース（廃棄される子ども靴のリデュース）		No.	22-A1
提案者	緑区 男性	提案日	平成22年10月14日	
		検討会議	平成22年11月30日	
		検証日	平成23年 6月29日	
【概要】				
子ども用の古靴を集め、ボルネオ島の子ども達に送りたい。				
【実施結果】				
<p>緑区内のリユースショップの協力を得て、2月いっぱい回収を行い、27足を集めた。</p> <p>3月のボルネオ島訪問時に、以前から参加しているボランティア団体の一員として地方の集落を訪れ、現地の子どもたちに提供した。</p> <p>◆ 実施の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄されるはずの靴を回収でき、海外支援につながられた。 ・ 靴を受け取った子どもたちはもちろん、ボランティア団体も、非常に喜ばれる支援メニューができたことを歓迎している。 <p>◆ 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の取組としても適度な量の、状態のいい子ども靴が回収できた。リユースショップから常時回収を受け付けてくれるとの回答を得たので、11月に予定しているボルネオ訪問時に集まった靴を持参するなど、今後も取組を継続していきたい。 				
【支援内容】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 回収に協力しうるリユースショップのご紹介。 				
【効果検証】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣類に比べて靴はリユースが進みにくく、また、成長によってサイズが変わる子ども靴は、まだまだ使えるものが捨てられている。「もったいない」という気持ちをきっかけに、海外支援を行うと同時に、廃棄される靴のリデュースが実現した取組である。 ・ 				
【今後の課題、展開等】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は、リユースショップ店頭でのPRのみで適度な量の靴が回収できたが、今後、回収数が減少した場合には、状況に応じてヨコハマRひろばウェブサイトによるPR支援等を行う。 				